

議会活動の在り方検討特別委員会記録

招集（開催）年月日	令和元年7月31日（水）	
招集（開催）場所	岩美町役場 全員協議会室	
出席議員	田中克美委員長、寺垣智章副委員長、橋本恒委員、升井祐子委員、森田洋子委員、吉田保雄委員、杉村宏委員、宮本純一委員、川口耕司委員、澤治樹委員、柳正敏委員（副議長）	
欠席議員	なし	
議長の出席	あり（足立義明議長）	
職務出席者	鈴木議会事務局長、前田あずさ書記	
傍聴者	なし	
開会	午前11時10分	
記録者	議会事務局 鈴木浩次	
審査事項	別紙日程表のとおり	
協 議 の 経 過		
日程	発言者	内 容
1. 開会	田中委員長	*起立、礼 議会活動の在り方検討特別委員会を開会する。 議長、あいさつをお願いする。
2. あいさつ	足立議長	いや、進めてほしい。
3. 協議事項 (1) 特別委員会の今後の運営について	田中委員長	<p>日程表と、私から「議会活動のあり方検討特別委員会」と頭に書いたもの（メモ書き）と、あと検討課題の整理（参考例）2枚を付けている。それから事務局に依頼して「議会活動の在り方検討特別委員会での検討が望まれる主な事項」で、内容的には、平成22年度の議会改革調査特別委員会で検討されて引き継ぎ事項になっていること、それから主に議会運営委員会の中で杉村委員等から提案があった事柄を整理してもらって書き出したものだ。</p> <p>全体の目標としては、私のメモ書きに5番まで書いてあるけれど、この特別委員会のスタートに当たって目的の再確認と、活動期間について、活動のメリハリという意味でのめどの問題、これは、これから実質約2年間、集中的に議論を深めて実施するものは実施していくことを提起している。そのために、委員会が実を上げるために定例的な開催をしたい。それから、9月議会が始まるまでには、実質的な審議に入りたいと思っているので、そのための検討課題の整理や、検討する順番をいつ決めるのかということと、そのために、ここに書いているような日程を一つの予定として、これから日にちが経過する中で、どこの日にちでできるか明らかになってくると思うけれど、日程の段取りについて、今日は皆さんで協議・確認していきたいと思っている。</p> <p>こういう方向で今日の到着点を定めたけれど、この順番で話を進めてよろしいか。</p>
		「よい」の声
目的の再確認	田中委員長	では、最初なので特別委員会の目的の再確認で、6月議会で特別委員会を、以前の議員報酬調査特別委員会の名称と設置目的を変更

		<p>したけれど、その時の杉村議員の質疑に対する私の答弁を、一部を読ませてもらう。</p> <p>『議会の活動、それから議員個人の活動や努力が相互作用で全体の力が高まって行って、町民の皆さんの期待に応える議会になることができると思います。</p> <p>基本的にはそういう観点でさまざまな課題、さまざまな課題の中には前々議会の議会改革特別委員会が積み残し、次に送りますとして送った課題ももちろん入ってくると思います。それだけにとどまらず、今、私が述べたような観点から必要な事柄、課題、テーマについては、さまざま入ってくると思います。』</p> <p>ということで、議員個々の力量の向上を大前提に、議会としての活動が町民の期待に応え得るようなものになっていく、そのために必要な課題は、積極的にこの特別委員会で検討し、実施していくということがこの特別委員会の設置目的だと思う。</p> <p>この時、趣旨説明の文章を省略したので、質疑があつて答えることができ、そういう意味ではありがたい質疑だったと、今になれば思う。</p> <p>我々の議会活動、議員活動の全般にわたる課題について、この答弁の前段で触れたけれど、昨年の改選後の新しい議会で、議会の活動の充実ということ、繰り返し議長からいろんな場面で発言があったし、議運の中でもそういう議論が何回かされたと思う。</p> <p>そういう流れを踏まえて、この議員報酬の特別委員会に実を結び、その議論がこの新しい特別委員会の今後の活動に、更に成果として実っていくだろうと思っている。</p> <p>そういう目的を改めてこの場で確認をしたいと思っている。</p> <p>再確認ということだ。この委員会に当たっての個々の委員の決意や心構えということで、何か発言があれば、発言してほしい。</p> <p>(無言)</p> <p>それでは、今述べたような目的を、我々、議員全員で達成すべく、これから努力していきたい。</p>
活動期間のめど	田中委員長	<p>次に、活動期間のめどだ。ここに提案しているけれど、次期改選の前年、2022年の改選なので、2021年の9月議会までに、町民の目に見えるような成果を、我々も頑張っているということが自覚できるような、そういう目に見える成果を上げていきたい。実質2年間だ。その期間設定をする理由は、議会の存在価値を住民に認識してもらえる状況をつくって、岩美町議会に対する関心を持っていただき、願わくば議員を目指す町民が生まれるようにしたいと思う。そのためには、改選の1年前をめどにして頑張らないといけないと思う。もちろん、その時点でこの特別委員会の活動が終了ではなく、任期の最後まで充実のために努力を尽くすことは当然だと思う。その時点の皆さんの判断で、これで終わろうということになるかもしれない。私としては2年、目いっぱい頑張って更に資質向</p>

		<p>上について引き続きやろうと思っている。 この活動期間については、どうだろうか。杉村委員。</p>
	杉村委員	<p>2年間をめどとすることは良いことだと思う。今年は2019年なので、2年後は2021年だ。(資料訂正)</p> <p>在り方を検討するそれぞれの項目によっては、既に皆さんが共通の賛意のある事項もあれば、意見の分かれる事項もあると思う。2年間の段階を分けたほうが良いと思う。多くの賛意があるものはさっさとやって、論議が必要なものは論議をしながら進めていって、そこには町民の皆さんの意見を求めていくこともあるかもしれない。進め方を、できるものは速やかに、論議が必要なものは論議を含めて、更に重要な事項については、例えば町民アンケートなどが必要なものが出てくるかもしれない。そういうことをやっていく2年間にしてほしい。</p>
	田中委員長	<p>次回の委員会について、今、分かっている範囲で日程を定めると、近いところでは8月21日か22日しか取れない。このところで今後の検討課題を整理して、検討する順番を決めたい。そのための参考として、検討課題の整理(参考例)を付けている。この中に、先ほど示した事務局で整理してもらったものも、どこかの分野に分類して入れている。入っていないものとしては、議選の監査委員をどうするかということ参考例に入れていない。</p> <p>この分野ごとにするかどうかということは、杉村委員が言われたように、早くすること、あるいは早くできることも考え合わせて、何から取り掛かるか、一回一回決着する問題もあれば、継続してやる問題もあるから、やり方としては、継続するものは継続しながら、決着できるものはどんどんやっていく合わせ技のようなこともあると思う。具体的には次回の会合のときに検討したい。</p> <p>おっしゃるように、やれるものはちゃっちゃとやっていく。継続すべきものは、時間をかけて議論を深めていく。それからお金を伴う問題は町長部局との関係もあるので、時間の掛け方や議論の進め方はさまざまに出てくるので、その辺は組み合わせてやっていくことになると思う。</p> <p>議会の存在価値を認識してもらえ成果を上げるためには、この2年間できっちりやりたいと思う。具体的には、次回の会議でもう一度杉村議員からも提案してほしい。</p> <p>活動期間については、これでよろしいか。</p>
		(「よい」の声)
開催の定例化	田中委員長	<p>この2年間で成果を上げるということを念頭におくと、委員会の開催を定例化することが必要ではないかと思う。取り組む我々の意識と自覚を継続するうえでも、定例化が寄与すると思う。お金がかかることは、町長部局との関係もあるので、それなりのスピード感をもって対応してもらわないといけないことも出てくると思う。定例化することで、執行部の背中を押すことになるという期待もある。定例化の頻度がどのくらいか、ここで皆さんと決めていきたい。</p>

		定例化するという事について、どう思われるか。
		(「いいと思う」の声。)
開催頻度	田中委員長	単純計算すると、2年間なので月1回で24回となる。ただ、よその議会の報酬の取り組みなどを見ると、長時間の会議に限らず、状況のチェックとか情報交換など、時間のかからない会議を含めて、結構頻繁にやっている。そう考えると、月1回はちょっと空き過ぎかな。3週間に1回とか。もちろん議長の日程とか、他の日程と重なる場合もある。
	足立議長	その辺のスピード感は、委員長、副委員長に任せよう。
	田中委員長	基本的には3週間に1回くらいのテンポでやってはどうか。月2回でもいい。
		(「任せる」の声。)
次回の開催日		21日、22日の会までに副委員長と相談して決めたい。 定例化することには決まった。 今後の検討課題を整理して、その順序を決めること、進め方を決めることについては、今、議長の日程などで分かっている範囲では、8月21日か22日が一番近い。
		(「21日はだめ」、「22日はだめ」の声。)
	柳委員	委員長。日程を一人一人の都合を聞いていたら、3週間に1回なんてほど遠くなる。議長の日程は当然確保する中で、委員長、副委員長の判断で進めることを申し合わせておかないと、いつまでたっても進まない。
		(「全員が揃わなくてもいい」の声。)
	田中委員長	22日がだめという人が複数あった。次回は8月21日。
	足立議長	委員長。次は21日を決めたら、それ以降の日程は事務局と相談しながら委員長と副委員長で決めてほしい。
	澤委員	21日は、人間ドックだ。午後ならいい。
実質的な審議入りの考え方	田中委員長	開始を午後にしよう。21日は午後1時半開会とする。 検討課題の整理(参考例)は、私一人の考えなので、中に書いている検討事項については、これだけではないと思う。ただ単に岩美町チャンネルなどの単語しか書いていない。もっと具体的に検討する事項がさまざまに出てくると思う。これらを補強してもらって、21日に皆さん持ち寄っていただいて議論したい。別の分類の仕方もあるかもしれない。私の分類は基本的に1から4までで、5の議会基本条例は、前々期の議会の引継ぎにあるので、これをどういう扱い方をすべきか、私の考え方をここに書いているものだ。要するに議会基本条例を作ってから事を進めるものではないということだ。 また、1から4までの課題とは別個の課題となる公費支給の問題については、基本的には基本条例をつくる過程の中ですることかなと思っているけれど、費用弁償とか交通費とか、別途検討して結論が出せるもの、実行に移せるものは、どんどん進めるものは進めるやり方の中でやれる問題だと思う。 21日の議論の中で、凍結している答申への対応、条例の凍結解除の問題の、基本的な考え方を議論しておきたいと思う。

		<p>9月議会までに具体的な審議に入りたい。今の状況では、一番近い日にちで8月30日の全員協議会の機会にと思っているけれど、全員協議会にどれくらいの時間を要するか今の時点では分からない。8月に入って5日以降にはめどがつくのではないか。私としては2時間くらい時間を確保できるならやりたい。その見極めは5日以降になる。30日が駄目な場合は、9月3日の議会運営委員会の午後に特別委員会を持たせたいと思う。いずれにするか、8月5日以降にめどがついた時点で決めて、8月21日に確認したい。</p> <p>そういうことでよろしいか。</p>
		(「はい」の声。)
	杉村委員	<p>委員長。委員長が準備していただいた資料などで具体的な課題等を書いてあると思うけれど、21日までに例えば各委員から、今の時点でこういうことを改革すべきであるということを提出いただいたら、21日に一緒に議論することになるか。</p>
	田中委員長	<p>事前に意見を寄せていただければ、そのようにする。</p>
町民からの意見募集	杉村委員	<p>町民の皆さんは、関心のある方も相当おられると思う。在り方を検討する中で、町民の方からの意見の募集を受け入れることは欠かせないと思っている。それは次回検討することになるか。</p>
	田中委員長	<p>それは、個別の課題の議論を進める中で、これは意見を聞いたほうがいいのか、町民だけでなく専門家の意見を聞いたほうがいいのか、そういうことが起きる可能性がある。その中で取り組んでいくことになると思う。必要性を議論の中でしっかり押さえてやりたい。町民の皆さんの意見を聞く、意見交換会とか懇談会のような形になるかもしれないし、アンケートになるかもしれないけれど、いずれにしてもそれ自体が、議会の我々の活動が見える機会になるので、積極的に生かしたいと思う。出来上がってからではなく、過程が見えることが大事だと思う。</p>
	杉村委員	<p>町民の方は、理路整然とされている方もあれば、そうでない方もある。この項目についてご意見をくださいということも大事だと思うが、全般的に私はこう思っているみたいなことでも、早い段階から募集してはどうか。</p>
	田中委員長	<p>この活動がスタートすれば、9月議会の議会だよりには書きたいと思う。9月議会までに実質審議を始めたいたいの、その意味もある。その記事の中でテーマを限らないで意見をお寄せいただくことを呼び掛けたい。よろしいか。</p>
		(「よい」の声)
	田中委員長	<p>以上で議会活動の在り方検討特別委員会を閉じる。</p>
		午前11時43分 閉会

その他 新聞広告の共 同化	足立議長	新聞広告で、岩美町と岩美町議会にありとあらゆる要請がたくさんある。それを今まで交際費で賄っている。中部、西部の各町村のやり方は、中部議長会として一本化しているし、西部は西部議長会と、それぞれが一本化している。町村会も、中部町村会とか西部町村会と一本化されている。でき得るなら東部の4町も、ことあるごとに町ごとに要請が来ているのを、東部町議会議長会で対応したいと思う。東部でまとまってすることを了解してほしい。
納涼祭等のお 祝い	足立議長	昨日もあすなる会の納涼祭で、交際費でお祝とか、要請があればいろんな各種団体に持って行っていた。具体的には、1万円だったものを今回から5千円にしている。その理由は、行かれた議員さんの飲み食いの部分を要請された団体が無料にされたり、いろんなことがあるけれど、そういうことを断って、今後は、できれば最低限のお祝いにさせていただきたい。交際費の他の町村の状況を聞けば、そういうことは一切していないというのが現実のようだ。必要なものは必ずするけれど、必要でないと判断されたものは、今まではしていたけれど縮小または廃止させていただくことを了解してほしい。どうだろうか。
	澤議員	高校野球なんかはどうか。
	足立議長	高校野球も、中部、西部もそれぞれ町村会と議長会で一本化されている。
	澤議員	メンバー紹介されるときに、各高校が全部載っていて、その高校ごとに広告を出していると思うが、そういう場合はどうか。
	足立議長	必要なことはするけれど、全体でも差し支えないと思われるものは、全体で考えたい。例えば、今回の参議院選挙の当選などは、中部、西部はそれぞれ一本化しているのに、東部はそれぞれの町で出している。これを一本化したらどうかということだ。今、そういう申し合わせをしているので、皆さんに了解してほしい。
		(「了解する」の声)
		午前11時52分 終了

上記のとおり会議の次第を記録し
これを証するため、ここに署名する

岩美町議会
議会活動の在り方検討特別委員長